

令和6年度

事業計画書

社会福祉法人 やまなみ会

- ・ゆほびかデイサービスセンター

目 次

- 1 はじめに . . . 1 ページ
- 2 施設理念
- 3 基本方針
- 4 重点項目
- 5 関係機関との連携 . . . 3 ページ

1 はじめに

昨年度は一人でも多くの支援が必要な方に当通所をご利用いただくべく、プログラムの充実化や地域に向けた発信に力を入れてきた。お泊りデイサービスを中心に新規利用者様をお受入れし、家族の介護負担や軽費宿泊サービスを提供することによって金銭的負担も軽減することができた。

令和6年度は業務持続計画をもとに自然災害、感染症等様々な分野において社会情勢の変動にも左右されない運営を目指し、利用者様に安心・安定した支援を持続できるよう取り組んでいく。

医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの一員として、要介護状態になったり、認知症を抱えても住み慣れた自宅や地域で安心して過ごしていただけるよう、地域医療・介護施設等の関係機関との連携を図っていく。

2 施設理念

法人理念「共に支え、共に生きる」に基づき、職員、ご家族、周辺地域、行政その他関係機関等と連携し、ご利用者が自分らしく住み慣れた地域で生活が送れるよう支援を行う。

3 基本方針

- ・災害や感染、社会情勢に対し事前対策を図り安定した運営を目指す。
- ・地域に必要とされる施設・職員を目指す。
- ・利用者の安心・安全・尊厳を守り、自立した生活が送れるよう支援を行う。
- ・ご家族、関係機関、行政や地域等と密に連携を行う。

4 重点項目

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 災害、感染等緊急時に備えた備品・備蓄の整備と定期的な点検、実践的訓練の実施② お泊りデイサービスの利用促進や家族様の介護負担軽減③ ご利用者の生きがい作り（プログラム改革～地域発信へ）④ 業務IT化による業務効率化 |
|--|

①災害、感染等緊急時に備えた備品・備蓄の整備と定期的な点検、実践的訓練の実施

- ① 人的資源に対する備え、利用者様・従事者の安全を確保するための対策
- ② 金銭に対する備え、一定期間操業が困難な場合に発生する損失の理解
- ③ 物資に対する備え、事業場周辺の災害時の危険性について理解・周知
- ④ 情報流出に対する備え
- ⑤ その他総合的な備え

②お泊りデイサービスの利用促進や家族様の介護負担軽減

住み慣れた自宅での生活を継続するため、近年ショートステイの利用需要増加に

対応するべく、より多くの地域の方々に当事業を周知し福祉施設としての役割を果たす。

- ①経済的負担の少ないサービスを提供。
- ②お泊り日の当日と翌日はデイサービスを利用していただく。
- ③緊急的な受入れも行う。
- ④お泊りに合わせ、デイサービスのサービス提供時間の延長を目指す。

③ご利用者の生きがい作り（プログラム改革～地域発信へ）

ご利用者が「ゆほびかデイを選んで良かった」と思え、ここにしかない魅力あるサービスで生きがいを創出する。

余暇活動・趣味活動

ア 屋上を活用した菜園づくりなど

イ クラブ活動の充実（習字、映画・音楽鑑賞、ゲーム、カラオケ、工作、麻雀など）

① 生活の質を高め、残存機能の維持・向上に向けた機能訓練

ア リハビリ機器を使用した訓練

イ 物理療法の使用

ウ 身近にある道具を使った訓練他（体操、タオル、椅子など）

エ 機能訓練を兼ねた周辺地域散策

オ 生活動作の自立を目指す（食事、入浴、排せつなど）

オ 個別ケアの実施（計画・実施・評価を行う）

② 認知症予防

ア 買い物や地域行事の参加による社会的交流を図る

イ 季節の行事の実施

ウ 脳活性を目的としたゲーム、ドリル及び余暇活動の実施

④業務 IT 化による業務効率化

プログラムの改良だけに満足せず、全ての取り組みを地域に向け発信。

① 業務 IT 化を進め、余った人的コストで地域に向けた発信力の向上を図る。

ア 時間や手間のかかる記録など A I タブレットを活用

イ 記録に費やしてきた時間をご利用者の対応に充て満足度の向上を図る。

ウ 満足度のデータ化により評価の獲得を図る。

5 職員の資質向上

① 施設内外研修の実施及び参加（別途研修計画）

ア 認知症ケアや重介護者の対応等の技術面・制度面に関して重点的に研修を行う。

イ 権利擁護、暴力・虐待、接遇マナーに関する研修

② ゆほびかの重点的アピール事項の模索と実施を行い、他事業所との差別化を図る。

③ 資格取得を支援する。

6 関係機関等との連携

- ① 居宅介護支援事業所やささえりあ（包括）と連携（情報提供等）。
- ② 職員研修、業務改善等を行うため、法人内事業所と連携を行う。
- ③ 施設行事等に地域住民を招待する。また、地域住民が日常的に出入りできるような施設にするため、趣味活動の集まり、作品展示等使えるスペースを作る。
- ④ 運営推進会議の開催を年に2回実施し地域に必要とされる事業所を目指す。

7 施設行事計画（*毎月：誕生日会、外出行事）

4	お花見	8	バーベキュー	12	クリスマス会、餅つき柚子湯
5	運営推進会議	9	敬老会	1	初詣
6	防災訓練	10	防災訓練	2	節分
7	夏祭り、七夕	11	紅葉狩り、運営推進会議	3	日帰り旅行

8 職員研修計画

4・5	介護予防/社会保障制度/リスクマネジメント/入浴介護技術
6・7	感染症（食中毒）/防災訓練/接遇マナー
8・9	プライバシー保護/身体拘束/権利擁護/介護技術
10・11	認知症とその対応について/感染症対策/接遇マナー
12・1	介護予防/社会保障制度/記録の書き方/入浴介護技術
2・3	介護倫理/法令遵守/防災訓練